



繼續專門教育(CPE)方針



改訂:2008年1月

公認情報システム監査人 継続専門教育（CPE）方針

目次

概要	2
公認要件	2
一般的な要件	
年次および3年間の報告期間	
CISA管理手数料の支払およびCPE時間数の報告	
公認要件確認の年次通知	
CISA ロゴの使用条件	
CPEの時間数の監査	3
記録の保存	3
資格の取消	3
再審議と不服の申し立て	3
退職後および一時休職のCISAの地位	3
退職CISAの地位	
一時休職CISAの地位	
適格専門教育活動	4
個人としての専門能力の育成	
職業への貢献	
CPE時間数の計算	5
連絡先	5
職業倫理規則	6
出席証明書	7
追跡記録	8

公認情報システム監査人 継続専門教育 (CPE) 方針

概要

継続専門教育 (CPE: Continuing Professional Education) 方針は、CISA全員が、情報システムの監査、管理、セキュリティの分野で、現在持っている十分な水準の知識と熟練度を維持することを目標としています。CISAが継続専門教育方針を遵守すれば、更に訓練を積んで情報システムと技術を評価でき、リーダーシップを発揮して組織の価値を高めることになるでしょう。

CISA 認証委員会 (委員会) は、CPEの要件を規定する責任を負っています。同委員会は、CPEの手続と要件が適切なものとなるように、これらを監督します。

公認要件

一般的な要件

CISA継続専門教育方針では、毎年および3年間の公認期間に、一定時間、専門教育を継続的に受けることが必要とされます。CISAは公認されるために、下記の要件を満たすものとします。

- 専門教育を毎年少なくとも20時間受けて報告する。
- 毎年ISACA国際本部に、CPEの管理手数料の全額を支払う。
- 3年間の報告期間中に、専門教育を少なくとも120時間受けて報告する。
- 年次監査に選ばれた場合、必要とされている文書に、CPE活動として必要な文書を提出する。
- ISACA職業倫理規則を遵守する。

これらの公認要件を遵守しなかった場合には、その個人のCISA資格を取り消すこととなります。

年次および3年間の報告期間

年次の報告期間は、毎年1月1日から始まります。3年間の公認期間は人によって様々であり、その期間は、年次請求書と公認要件の年次確認書に記載しています。

新規に公認されたCISAの方々については、年次および3年間の公認期間は、公認された翌年の1月1日から始まります。公認された年度中は、一定時間、CPEを受けることは必要とされていません。ただし、公認の日からその同じ年の12月31日までに受けた教育の時間数は、最初の報告期間に受けたものとして報告することができます。

CISA管理手数料の支払およびCPE時間数の報告

毎年、CISA管理手数料を支払い、CPEを受けた時間を報告しなければならない。すべてのCISAに対し情報システムコントロール協会 (ISACA) が、毎年11月に請求書を送付します。CISAの資格維持のためには、1月15日までにCISA管理手数料の支払いとCPE時間数の報告を行うものとします。

公認要件確認の年次通知

CISAがCPEを必要時間受けた報告をして、管理手数料を全額支払うと、ISACA国際本部から確認書を受け取ります。この確認書には、CPEを受けた時間数が記載されています。すなわち、毎年の報告として承認された時間数、3年間の公認期間中のうち過去の各年度に報告された時間数、3年間の規定公認期間に必要とされる時間数が記載されています。この確認書にミスや省略があった場合、各CISAが責任を持って、ISACA国際本部に直ちに通知するものとします。

CISA ロゴの使用条件

CISAロゴの個人的な使用は許可されません。それは、情報システムコントロール協会 (ISACA) がその個人が提供する製品またはサービスを保証しているとみなされる可能性があるからです。ただし、「John Q. Customer, CISA」のように名前の後にCISAという略語を付加して使用することは許可されます。

公認情報システム監査人 継続専門教育 (CPE) 方針

CPEの時間数の監査

毎年監査のために、CISAのサンプルを無作為に選びます。選ばれたCISAは、「適格専門教育活動」の項に記載されている基準を満たすものとして以前報告した活動について、文書による証拠を提出しなければなりません。委員会は、具体的な専門教育活動に関し、承認する時間を決定します。この監査の要請に従わなかった場合は、CISA資格を取り消されます。

記録の保存

CISAは、報告したCPE活動を裏付ける文書を入手し、それを保管する必要があります。この文書は、3年間の報告期間の終わりから少なくとも12ヶ月間、保管するものとします。この文書の形式は、書簡、終了証明書、支払領収書、出席簿、出席証明書（本方針に記載）、またはその他の独自の達成証明書とします。各記録には少なくとも、出席者の氏名、後援機関の名称、活動のタイトル、活動の概要、教育提供機関の名称、活動日と場所、CPEを受けた、または受けたと主張する時間数を記載します。

資格の取消

CISAが公認情報システム監査人の継続専門教育方針を遵守できなければ、CISA資格は取り消され、CISAと名乗ることはできません。CISA資格を取り消された場合、CISA試験を再受験して合格した上で、CISA資格の申請書に記入して提出しなければなりません。

再審議と不服の申し立て

公認要件を満たさなかったために資格を取り消されたCISAは、ISACA本部に文書で要請し、この取消に対して不服を申し立てることができます。この要請は、取消通知から60日以内にISACA本部に必着すべきものとし、その際、申し立ての詳細な説明も記載して下さい。

退職後および一時休職のCISAの地位

退職CISAの地位

55歳を超えて退職したCISA、または永久的に身体障害となったために、情報システムの監査、管理、セキュリティの専門家としての義務を果たせないCISAには、退職CISAの地位を申請する権利があります。この地位を与えられたCISAは、CPEを一定時間受ける必要はありませんが、管理手数料は毎年支払わなければなりません。

一時休職CISAの地位

情報システムの監査、管理、セキュリティの職を辞したCISAは、一時休職CISAの地位を申請する権利があります。**一時休職CISAの地位についての申請は、年次請求書を添付した上で、1月15日以前にISACA本部に必着するものとします。**この地位を与えられたCISAは、CPEを一定時間受ける必要はありませんが、管理手数料は毎年支払わなければなりません。

退職CISAまたは一時休職CISAの地位の申請をお考えのCISAは、電話+1.847.660.5660)、ファックス (+1.847.253.1755)、または電子メール (certification@isaca.org) にて、公認担当部 (certification department) までご連絡ください。

公認情報システム監査人 継続専門教育 (CPE) 方針

適格専門教育活動

CPEとして認められる活動には、技術面の研修と管理面の研修があります。この研修は、バランス良く専門的な育成を行うために、情報システムの評価や、監査、管理、セキュリティ管理に関わるスキルの向上 (www.isaca.org/cisacontentareas) に直接適用できるようなものでなければなりません。また、管理スキルに関連する専門教育の研修時間は、監査または監査要員の管理に関連するものでなければなりません。具体的に適格専門教育活動として分類されている場合を除き、実際の仕事で、CPEの時間数を獲得することは認められません。Microsoft WordやExcelなどの基本的なオフィス生産性ソフトウェアの研修は、CPEとしては認められません。活動によっては、CPEとして認められる年間時間数に制限があります。次の項目の適格活動と制限時間数が委員会に認められており、CPEとして承認されています。

個人としての専門能力の育成

■ **ISACA専門教育活動と会議（時間数の制限なし）**：これらの活動には、ISACAコンファレンス、セミナー、ワークショップ、支部プログラム、会議、関連活動があります。実際に参加した時間数に基づき、CISAはCPEの時間数を獲得できます。（「CPE時間数の計算」のセクションを参照）ただし、ISACA支部会議に出席した場合、実際の会議時間には関係なく、最低限の1CPE時間となります。支部プログラムや会議に出席しても、ISACAのデータベースに自動的に登録されることはありません。必ず出席を証明する書類を保管しておいてください。

■ **ISACA以外の専門教育活動と会議（時間数の制限なし）**：これらのISACAが後援していない活動としては、社内研修、大学コース、コンファレンス、セミナー、ワークショップ、専門的な会議、関連活動があります。更に、CISA試験レビューコースについても、情報システムの監査、管理、セキュリティ、または管理知識やスキルを向上させるようなものである場合、このようなコースに参加すれば、CPEの時間数を獲得できます。実際に参加した時間数に基づき、CISAはCPEの時間数を獲得できます。（「CPE時間数の計算」のセクションを参照）ただし、大学コースの終了の場合、CPEの時間数は、2学期制の1学期当たりで15時間、4学期制の1学期当たりで10時間となります。（2学期制の1学期=15週間、4学期制の1学期=10週間）

■ **独学コース（時間数の制限なし）**：これらの活動には、独学用に構成されたコースがあり、CPEの時間数を獲得できます。コース提供機関が終了証明書を発行し、その証明書にコースで獲得したCPE時間数が記載されている場合のみ、これらのコースが認められます。いずれかの情報システムコントロールジャーナルのテストで合格点をとった場合のみ、1時間のCPE時間が認められます。

■ **ベンダーの販売やマーケティングのプレゼンテーション（制限時間数：年間10時間）**：これらの活動には、ベンダーの製品やシステムについての具体的な販売プレゼンテーションがあります。

職業への貢献

■ **教育、講義、プレゼンテーション（時間数の制限なし）**：これらの活動には、専門分野に関する教育的プレゼンテーションの考案と実施、および、独学コース/リモート教育コースの考案があります。プレゼンテーションやコース（全てのタイプ）において、第1回目ではプレゼンテーション時間または、コースの学習に要するであろう時間の2倍の時間数（例：2時間のプレゼンテーションで、CPEの時間数を4時間）、第2回目では実際のプレゼンテーション時間を獲得できます。それ以降の同じ内容のプレゼンテーションについては、内容が大幅に変更される場合を除き、CPEの時間数は獲得できません。独学/リモート教育コースの場合、受講修了までの予想時間の2倍の時間数を限度として、コースのアップグレード/管理に費やす1時間ごとに1時間分のCPE時間数を獲得できます。

公認情報システム監査人 継続専門教育 (CPE) 方針

- **記事、研究論文、書籍の出版（時間数の制限なし）**：これらの活動には、情報システムの監査と管理の職業に、直接的な関係がある資料の出版やレビュー（印刷物またはオンラインのいずれでも可）があります。正式の出版やウェブサイト上に現れたものであり、要請された場合には、記事のコピーやウェブサイトのアドレスを提供するものとします。書籍と研究論文については、目次と見出しのページも必要です。CPEの時間数として、執筆や検討にかかった実際の時間数を獲得できます。
- **試験問題の考案とレビュー（時間数の制限なし）**：これは、CISAやCISM（Certified Information Security Manager：公認情報セキュリティ管理者）の試験、または学習教材の考案やレビューに関する活動です。ISACA理事会や委員会が認めた質問1につき、1時間、CPE時間を獲得できます。公式に問題をレビューした場合には、実際にかかった時間を獲得できます。
- **関連する専門試験の合格（時間数の制限なし）**：これは、他の専門試験の合格を目指した活動です。合格した場合、試験時間1時間につき1時間、CPEの時間数を獲得できます。
- **ISACA、情報システムコントロール財団（ISACF）、ITガバナンス研究所（ITGI）の理事会や委員会での業務（制限時間数：年間10時間）**：これらには、ISACAやISACFの理事会、委員会、特別委員会への積極的な参加活動、またはISACA支部の幹部としての積極的な参加活動があります。実際に参加した1時間につき1時間、CPEの時間数を獲得できます。積極的な参加活動には、支部のウェブサイトの製作、実装および/または管理などが含まれますが、これらに限定されるわけではありません。
- **情報システムの監査および管理に関する職業に対する貢献（制限時間数：年間10時間）**：これらの活動には、ISACAのために行った業務で、情報システムの監査およびコントロールに関する職業に貢献するもの（例：研究開発、レビューマニュアルの開発、K-Netの開発、査読の実施等）が挙げられます。

CPE時間数の計算

実際に専門的な教育活動に参加した50分間（昼食時間や休憩時間は除きます）で、1CPE時間を獲得できます。ただしCPEは1時間単位であり、数値の端数は、四捨五入せずに切り捨てます。たとえば、休憩時間が90分ある、8時間（480分）のプレゼンテーションに出席したCISAは、7時間、CPEの時間数を獲得できます。

計算例：

教育活動スケジュール	実際の時間数	分数
午前 9:00 - 午後 5:00	8.0	480
引き算:15分の休憩時間が2回	<.5>	<30>
引き算:昼食時間—1時間	<1.0>	<60>
専門教育活動の時間数の総計	6.5	390

CPE時間数の計算

$390分 \div 50分 = 7.8時間$ つまり7時間のCPE（端数切り捨て）

連絡先

ISACA Certification Department
情報システムコントロール協会
3701 Algonquin Road, Suite 1010
Rolling Meadows, Illinois 60008-3124 USA

電話： +1.847.660.5660
ファックス： +1.847.253.1755
電子メール： CPEquestions@isaca.org

追加情報

www.isaca.org/cisacpepolicy

公認情報システム監査人 継続専門教育 (CPE) 方針

情報システムコントロール協会職業倫理規則

情報システムコントロール協会 (ISACA) は、協会の会員や公認情報システム監査人 (CISA) の資格保有者のために、専門家および個人としての行動のガイドラインとして、この職業倫理規則を規定しています。

CISAは、下記の事項を行うものとします。

1. 情報システムの適切な基準、手続き、および管理の導入を支援し、これらの遵守に努めること。
2. 独立かつ客観的な立場で義務を果たし、独立性や客観性を損なう活動、または損なうと思われる活動を避けること。
3. 精励、忠実かつ誠実に関係当事者の利益に供し、意図的に違法行為や不適切な活動の当事者とならないこと。
4. 法務当局が情報開示を要請した場合を除き、義務を履行する上で知りえた情報の守秘義務とプライバシーを守る。このような情報を、個人的な利益のために使用せず、不適切な相手に公表しないこと。
5. 監査や情報システムの管理に関連した分野での能力を維持すること。専門能力を用いることにより成し遂げられることが当然期待できる活動のみを引き受けること。
6. 実施した情報システム監査や管理業務の結果を適切な当事者に通知し、開示しなければ業務報告書の内容が歪められるか、または違法行為を隠すことになる物的事実をすべて明らかにすること。
7. 消費者、同僚、一般大衆、経営者、取締役会に対して、情報システムの監査と管理に対する理解を深めるための専門教育を支援すること。

この職業倫理規則を遵守できない場合、会員やCISA保有者を調査し、最終的に懲戒処分を行うことがあります。

公認情報システム監査人 継続専門教育 (CPE) 方針

出席証明書 CISA 継続専門教育 (CPE)

CISA証明番号： _____

_____ 下記の専門教育活動に出席しました。
(氏名)

タイトル: _____
(プログラムやコースの名称やタイトル)

日付: _____ CPE獲得時間: _____

後援機関: _____

説明: _____

場所: _____

*プレゼンター (講師) 名: _____

署名: _____
(プレゼンター (講師) または承認者)

注: 専門教育のプレゼンターの場合は、コースの後援機関の署名が必要になります。

注: ISACA に対する継続プロフェッショナル教育 (CPE) の報告は、すべて英語で行う必要があります。

公認情報システム監査人 継続専門教育 (CPE) 方針

追跡記録

名前: _____

CISA 証明番号: _____

報告期間: _____ ~ _____

活動のタイトル/後援機関	活動の概要	日付	CPE 時間	証拠文書の有無 (有/無)

注:このフォームを使って年間CPE時間を記録してください。
証拠文書は、3年間の報告期間の終わってから少なくとも12ヶ月間、保管するものとします。

注:ISACAに対する継続プロフェッショナル教育(CPE)の報告は、すべて英語で行う必要があります。



電話： +1.847.253.1545
ファックス： +1.847.253.1443
電子メール： info@isaca.org
ウェブサイト： www.isaca.org